

赤バケツ

第 33 号

編集発行 大津市女性防火クラブ連合会

大津市御陵町3番1号(消防局予防課内)

責任者 徳永 恵美子

印刷所 (有)ピバボックス

「市民の皆さまが安心・安全に暮らすことのできるまち」を目指して



大津市消防局
消防局長 ● 山川 真也

令和5年の輝かしい新年を迎え、皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

また、旧年中は、本市の消防行政推進にご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、3月に発生した福島県沖を震源とする地震、台風8号、14号、15号等様々な災害が全国各地で発生いたしました。7月から9月にかけては、新型コロナウイルス感染症第7波の猛威により、全国的に救急搬送困難事案が激増するなど、消防行政にもこれまでにない様々な影響を及ぼしました。また、火災や事故等の人為災害に加え、風水害をはじめ南海トラフを起因とする大規模地震などの広域的かつ甚大な被害を及ぼす自然災害の発生が全国各地において危惧されているところであり、更にテロ災害等、あらゆる災害への備えが求められ、消防機関に寄せられる市民の期待はますます高まっております。

そのようななか、本市においては、昨年10月、北消防署に特別救助隊を発隊させ、消防救助体制を飛躍的に向上させましたが、救急需要は増加の一途をたどり、救急件数は過去最多となるなど、引き続き防災・減災をはじめとする災害対応力の充実強化に取り組んでいるところであります。

「市民の皆さまが安心・安全に暮らすことのできるまち」の実現に向けて、各種事業を効率的に展開いたしますとともに、消防防災体制の一層の強化を目指し、時代の変化を前向きに受け止め、積極果敢に行動する人材を育ててまいります。

最後になりましたが、本年が災害のない平穏な年となりますよう、また皆様がご家族とともに健康で、実り多い年となりますことを心から祈念し、年頭にあたりましてのご挨拶といたします。

地域の皆さまと手を携えた活動を目指して



大津市女性防火クラブ連合会
会長 ● 徳永 恵美子

陽射しが春めいてまいりましたこの頃、皆さまにはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は大津市女性防火クラブ連合会の活動にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症第7波の到来や、全国各地で様々な自然災害が発生しました。災害に遭われました皆様に謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を祈るものでございます。

このようななか、当連合会では、感染防止対策を徹底した上で、年間の事業計画に基づいて、幹事会、理事会、全体研修会といった事業を進めてまいりました。

また、今年度からの新たな取り組みとして、当連合会の活性化と持続可能な活動体制を構築していくため、事業の「あり方」について検討を進めていくにあたり、昨年12月には「あり方検討会」を開催し、外部講師を招いた講演会やクラブ員によるグループワークを行いました。

当連合会は昭和62年の設立以降、活動の根幹である「家庭防火は女性の手で」を合言葉に、地域の皆さまのご支援とご協力のもと、防火・防災の取り組みを進めてまいりました。近年、クラブ員の減少や地域コミュニティの変容など、当連合会をとりまく環境は厳しいものがありますが、女性防火クラブ員が相互に協力し、クラブ員の確保と充実した活動を目指し、今、私たちに出来ることを精一杯取り組んでまいりますので、更なるご支援とご協力を賜れば幸いです。

最後になりますが、今年一年が、災害のない平穏な年となりますよう、また、皆さまにとって希望あふれる輝かしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

ご自宅の住宅用火災警報器作動しますか??

作動するか確認ください
～日頃の点検と10年を目安に交換を～

<https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/075/2353/keihoki/index.html>



QRコードを
チェック!



全体研修会

令和4年度全体研修会

坂本八区女性消防隊 ● 山田 弘子

今年度は水害の基礎知識、避難情報とハザードマップの活用方法について学びました。水害対策は事前に準備可能と言いますが、水害から身を守る3つのポイントとして、①ハザードマップで自宅の危険性を確認する。②テレビやインターネットなどで事前に情報を入手する。③状況に応じて、早い段階で適切な行動をとるといったものがあります。また、1時間雨量についての知識(30mm～50mmの場合、バケツをひっくり返したような雨が降り、がけ崩れが起きやすくなる)も学びました。

私は坂の多い町に住んでおり、雨の多い日も雨水が坂を流れていくのを見て、この町内では浸水はしないと安心していましたが、今回の研修会で、自分たちの町内だけではない話だと言い聞かせて勉強させていただきました。

また、ワークショップの時間では、班に若い方が2人おられて、楽しく勉強させていただきました。そのなかで、地域の各女性消防隊が抱える課題などについて意見

を出し合いました。私たちの隊も、隊員の高齢化や隊員数の減少により、活動が難しくなっています。

しかし、自分の家にもいつ災害が襲ってくるかわかりません。皆さん、非常持ち出し袋の準備や取り換えはできていますか?衣服は冬物と夏物の両方を入れてくださいね。私たちの隊でも、勉強する機会を持てるよう努めています。



大津市総合防災訓練

大津市総合防災訓練に参加させて頂いて

稲津町女性消防隊 ● 松井 妙子

去る令和4年9月24日(土)田上学区において大津市総合防災訓練が開催され、稲津女性消防隊7名が火災防ぎょ訓練に参加させて頂きました。

長期にわたるコロナ禍により、定期的な消防訓練が制限されていた影響もあり、7名が初心に戻りポンプ操作を学び直すような気持ちでした。

訓練当日まで消防団の皆様のご教示を受け、週に数回夜間に日程調整し、7名が一丸となり練習を繰り返して真剣に取り組むことが出来ました。ご指導ご高覧いただいた全ての関係者の皆様の格別のご理解ご協力に心より感謝申し上げます。



さて、当日は、前日の悪天候とは違ってかわり好天に恵まれ、警察、自衛隊、消防など防災関係機関及び地域住民の参加のもと、土砂災害、火災の救助訓練が実戦さながらに行われ、各団体が連携し一体となった本格的な訓練は圧巻でした。そのようななか、私達も短い時間ではありましたが、軽可搬ポンプによる初期消火訓練及び負傷者搬送の訓練に参加させて頂くことができ、貴重な経験をさせて頂いたことに感謝申し上げます。

今後も引き続き、消防活動を通して防災に対する意識を高め、安全な生活、住みよい暮らしへの働きかけが出来ますように尽力してまいります。

「あり方」検討会

大津市女性防火クラブ連合会
「あり方検討会」

柳田女性消防隊 ● 藤上 佐千子

令和4年12月3日(土)、大津市役所新館において、あり方検討会の講演会がありました。講師にNPO政策研究所の相川康子氏をお迎えし、有意義な時間を共有できました。

前半の座学は「防災・減災全般」のお話で、28年前阪神・淡路大震災が起き、全国的に防災意識が高まった時に比べて社会情勢の変化で「自助」が難しくなった人が増え、「公助」の限界も見えてきたそうです。

そのなかで女性たちが災害対応に参画することで何が変わる?何を变える?ということを考えていく必要があるとのことでした。

後半では1グループ6人に分かれ、グループワークをしました。グループでテーマに沿った課題を出し、課題の解決に向けて考えました。難しく考え過ぎて頭を抱え込む人もいましたが、日頃から思っていること、考えていることを出し合っていくうち、少しずつ理解できかけてきたところで時間が足りなくて、最終的な女性防火ク



ラブのあり方までは到達できませんでしたが、ヒントにはなったと思います。

また、「女性の参画拡大は持続的な地域防災・減災にとって『真に必要なこと』です。」と先生が仰ったことは、大津市女性防火クラブの活

動にとっても励みとなり、今回の講演会は、今、私たちが抱える課題へのアプローチを考える上で意義あるものになったと思います。



大津市消防出初式

大津市消防出初式に参加して

石山寺辺女性自衛消防隊 ● 森山 愛路

大津市消防出初式が8日、大津市民会館及びなぎさ公園おまつり広場にて行われました。

コロナ禍の影響で、会館大ホールでの式典のみが続き3年振りに訓練を含めた行事になったと伺いました。

第1部式典では、永年の功労者の方々、団体の表彰式がありました。しかしその後ろには、今回は表彰に至らなかったそれぞれの地域の多くの方々や団体の存在を思うと、地域に支えられた大きな組織であると改めて実感致しました。

主催者や来賓の皆様の祝辞や挨拶の中に、「台風・水害」の話もありましたが、多様化する災害に対する「消防」の仕事も多岐に渡り、その責務も大変だと感じ入りました。私事ですすが故郷が木曾川流域、現在の住居は瀬田川沿いと、「水害」については興味深く拝聴致しました。



第2部は、なぎさ公園に場所を移しての訓練や分列行進です。幸い暖かく風もない好天だったので、私たち参加者は勿論、多くの見学者にとっ

ても良い日になったのではないのでしょうか。

私たちの隊から4名の参加でしたが、私ともう一人は何年か振りの参加で、見学者の多さに驚きました。

「一斉放水」「消防車」等が一番のお目当てかと思われる小さなお子様連れ、ファミリーが沿道の前の方に陣取っておられ、私達の行進にも温かい拍手や手を振って下さいました。幾つかの参加団体に続き、女性防火クラブ連合会は、旗手・指揮者・住警器のぼり・隊旗を掲げた幹部隊員に続き、参加隊員が全員揃いの格好(ヘルメット・各隊が黒の法被着用)でしたので結構目立っていたかと思ひます。見様によっては格好良い(cool!)らしいです。

車両行進、消防音楽隊演奏及びカラーガード隊演技、消防活動訓練、一斉放水等々、充実の内容で集まった方々も楽しまれたのではないのでしょうか。

コロナ禍中、行事中止も多く経験者がいなくなり、技術の伝承も然りですが、物事を進めるのに今まで以上に手間を取られることも多いと思ひます。

今回のように、3年振り(今年のキーワードですね!)の行事開催に際し、感染対策にも細心の注意を取られ、準備をされた関係者の皆様のご苦勞に感謝しつつ、私達も肩の小さな荷が降りました。

頑張ってます! 女性防火クラブ活動

永年の女性防火クラブ活動に対し、
表彰を受けられたクラブ員を紹介します。

- 第74回日本消防協会定例表彰
優良婦人消防隊員表彰
大江東女性消防隊
安井 志麻 さん



- 令和5年大津市消防出初式
大津市女性防火クラブ連合会
優良章表彰
- ・大津市女性防火クラブ連合会
理事 仲野 佐代子 さん
- ・稲津町女性消防隊
松井 妙子 さん
西野 久美 さん
- ・橋本中央自治会女性消防隊
近持 和美 さん

被災地に届け!!

東日本大震災被災地 義援金・寄付金活動

One for All, All for Japan.

ひとはみんなのために、みんなは日本のために。

大津市女性防火クラブ連合会は、年間事業のひとつとして東日本大震災被災地義援金・寄付金活動を実施し、連合会行事等の際にクラブ員が募金活動を実施した結果、被災地義援金・寄付金 **38,585 円** の募金をいただきましたので被災地へお届けいたします。
ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。
今後も当連合会の義援金・寄付金活動に対し、皆さまのご協力をお願いいたします。

防災豆知識

～防災ずきんのつくり方～

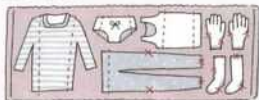
家庭にある物を利用した防災ずきんの作り方を紹介します。
ご家族全員の防災ずきんを作って、非常持出品に加えてみてはいかがでしょうか。

用意するもの

バスタオル1枚、タオル類、下着類、シャツ、くつ下、軍手、マスク、ガーゼハンカチ、10円玉などの小銭、歯ブラシなどの自分に必要なもの、安全ピン4個、布テープ(120cm)、針、はさみ、しつけ糸

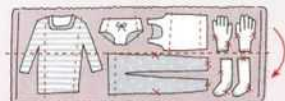
1

バスタオル全体に下着類をのせて、しつけ糸でぎゅっと縫い止めます。



2

バスタオルを横長に置いた状態で、上と下を合わせて半分に折りたたみます。



3

輪のほうが顔側になるよう2を縦半分に織りたたみます。輪の反対側を安全ピンを留めますが、かぶったときに首が当たる辺りに布テープを留め、安全ピンはそれよりも上で留めると扱いやすいです。

完成!

輪の側に布テープといっしょに笛をつけると、いざというときすぐに吹けて助けが呼べます。



編集後記

新型コロナウイルス感染症は感染防止対策の緩和措置が図られ、行動制限のない状況が続いていますが、普段の生活でも、家族と過ごす時間以外はマスクを外す機会はほとんどなく、with コロナの生活の長期化をひしひしと感じています。

大津市女性防火クラブ連合会の活動においては、事業の自粛は回避できましたが、一部、規模を縮小したなかで、クラブ員相互に協力し合いながら、事業を進めることができました。

今、大津市女性防火クラブ連合会では新規クラブ員を大募集しております。「防災」については様々な団体で研修や勉強会が開催されていますが、「防火」に関する啓発活動を長年に渡り継続して行ってきたことが、当連合会の何よりの強みであると思います。

当連合会の活動に少しでも興味を持たれた方は、事務局(消防局予防課内 Tel.525-9902)までお気軽にご連絡下さい。お待ちしております。

詳しくはHPを 検索
大津市女性防火クラブ連合会

<https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/075/2353/kasaiyo/bo/se/index.html>



地域の安心・安全のために、いっしょに活動しましょう。

